

環境審議会事前資料 2
平成 28 年 2 月 10 日

平成26年度（平成26年4月～平成27年3月）

西東京市環境白書 環境活動レポート



平成27年10月
西東京市

目次

1 環境白書・環境活動レポートについて.....	1
1-1 環境白書・環境活動レポートの役割.....	1
1-2 環境白書・環境活動レポートの構成.....	1
2.関係計画とエコアクション21について.....	2
3.環境方針.....	3
4.推進体制.....	4
5.西東京市の概要.....	5
6.西東京市第2次環境基本計画の取組状況.....	7
基本方針1.....	7
基本方針2.....	8
基本方針3.....	9
基本方針4.....	10
基本方針5.....	11
7.市の事務事業による温室効果ガス削減の取り組み.....	15
7-1 環境目標.....	15
7-2 エネルギーに関する取組状況.....	16
7-3 各課の環境活動.....	20
◎市の業務での環境負荷の低減の取り組み.....	20
◎地域への環境の保全・創造の取り組み.....	21
7-4 職員研修.....	28
7-5 環境コミュニケーション.....	28
7-6 環境法規制等の遵守状況.....	29
7-7 市長による全体評価及び見直し.....	30

環境白書

環境活動レポート



西東京市マスコットキャラクター

いこいな ©シンエイ/西東京市

自然と生き物のふれあいを守る森の妖精です。
西東京いこいの森公園でみどりや生き物を育てる
お手伝いをしています。

1. 環境白書・環境活動レポートについて

1-1 環境白書・環境活動レポートの役割

西東京市環境白書・環境活動レポートは、平成 26 年度 1 年間の西東京市役所の環境の取組をまとめたもので、次の 3 つの役割を果たします。

- ☆ 「西東京市第 2 次環境基本計画」の進捗状況の点検・評価
- ☆ 西東京市の環境の現状や市が実施している環境に関する施策などの周知
- ☆ エコアクション 21 の環境活動レポートとして、市の環境活動の取組状況の報告

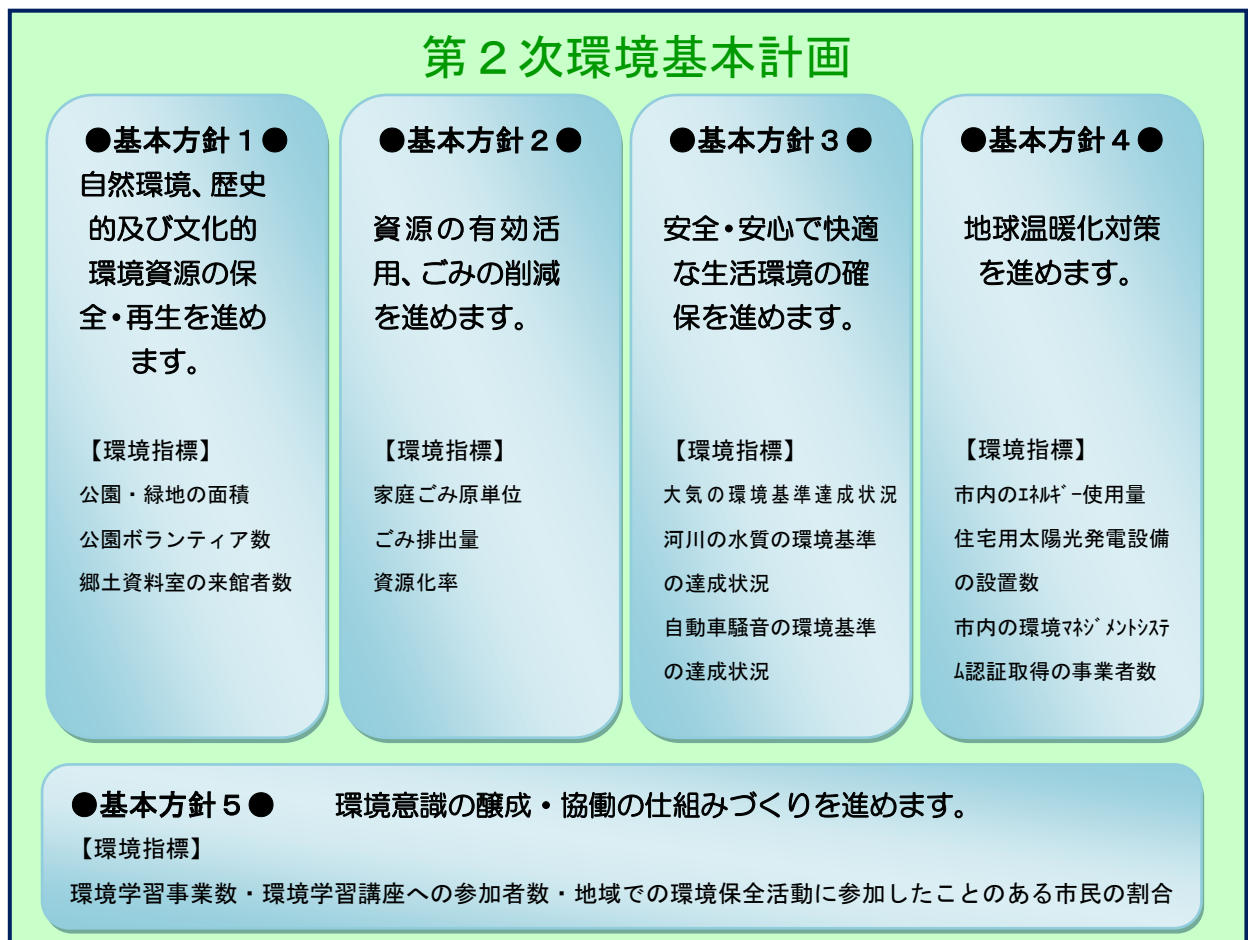
環境白書は、「西東京市第 2 次環境基本計画」に基づく取組状況や環境指標に対する目標の達成状況を点検・評価します。また、西東京市の環境の状況や施策・事業の取組状況を把握し、報告します。平成 26 年 3 月に策定した「西東京市第 2 次環境基本計画」は、「西東京市環境基本条例」に基づいて市の環境の保全に関して長期的な目標を定めた「西東京市環境基本計画」（平成 16 年 3 月）、「西東京市環境基本計画（後期計画）」（平成 21 年 3 月）をふまえて、社会経済情勢の変化や環境行政をとりまく環境の変化に対応させた計画です。第 2 次環境基本計画では、西東京市のめざす環境の将来像を「自然とのふれあいを皆で大切に育む、すごしやすい安心なまち」とし、5 つの基本方針とそれらを実現するための指標や取り組みの方向を設定しています。

また、西東京市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」（平成 23 年 3 月）を策定しており、市の事務事業から排出される温室効果ガスの削減に取り組んでいます。この計画を推進するために、エコアクション 21 を運用しています。環境活動レポートは、エコアクション 21 の取組状況を公表するものです。

1-2 環境白書・環境活動レポートの構成

前半は、「西東京市第 2 次環境基本計画」の環境指標に対する達成状況をまとめた環境白書であり、後半は、エコアクション 21（市の事務事業から排出される温室効果ガス削減）の取組をまとめた環境活動レポートとなっています。

2.関係計画とエコアクション 21 について



**第二次地球温暖化対策実行計画
地球温暖化対策地域推進計画**

推進体制

環境経営本部・エコアクション 21

報告書

環境活動レポート・環境白書

3.環境方針

西東京市環境方針

1 基本理念

西東京市は、縄文時代の集落跡や、農地、屋敷林、雑木林に代表される武蔵野の景観など、先人が創り上げた豊かな環境を受け継いできました。

しかし、首都近郊という立地特性から都市化が進み、物質的豊かさや利便性の高さを求める資源やエネルギーを大量に消費する生活が中心になり、西東京市においても、身近な環境問題から地球規模の環境問題に至る多種多様な環境問題が顕在化しています。

西東京市役所（以下「市」という。）は、市内の事業所のひとつとして「西東京市環境基本条例」「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」及び「西東京市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、良好な環境を将来の世代に引き継ぐため、再生可能エネルギーを積極的に導入するなど、限りある資源を有効に活用し、身近な環境問題から地球規模の環境問題の改善に継続的に取り組み、多様な生物が共生した持続可能な低炭素社会の構築に努めます。

2 基本方針

基本理念に基づき、環境に関する合意事項及び法規制を遵守し、西東京市環境マネジメントシステムにより環境活動計画を定め、次の項目に取り組みます。

(1)環境に配慮した事務・事業を推進します。

- ①省資源、省エネルギー、廃棄物の減量及びリサイクルなどを推進し、市が排出する温室効果ガスの発生抑制に努めます。
- ②公共施設における再生可能エネルギー機器の導入を推進します。
- ③公共工事、委託業務における環境負荷の低減に努めます。
- ④グリーン購入を推進します。
- ⑤その他、市が行う事務・事業の環境負荷の低減に努めます。

(2)環境に関する様々な情報を発信するとともに、環境学習を推進し、市民に対する環境意識の高揚を図ります。

(3)環境白書（環境活動レポート）を作成し、市の活動内容を公表します。

(4)市の環境状況を把握するため、各種環境測定や監視を継続し、公表します。

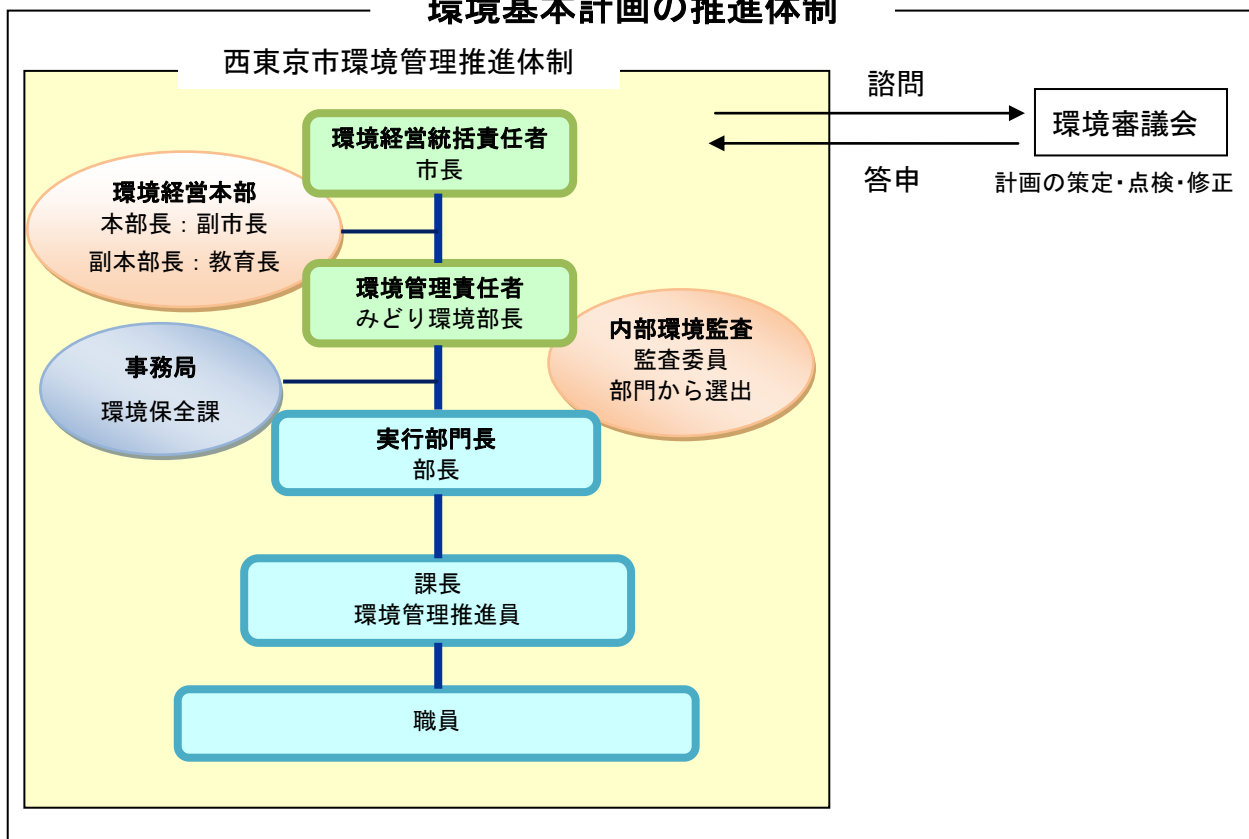
(5)職員の環境保全に対する意識の向上を図るため、教育・訓練を行います。

平成25年9月1日

西東京市長 丸山 浩一

4.推進体制

環境基本計画の推進体制



【エコアクション21 対象組織】

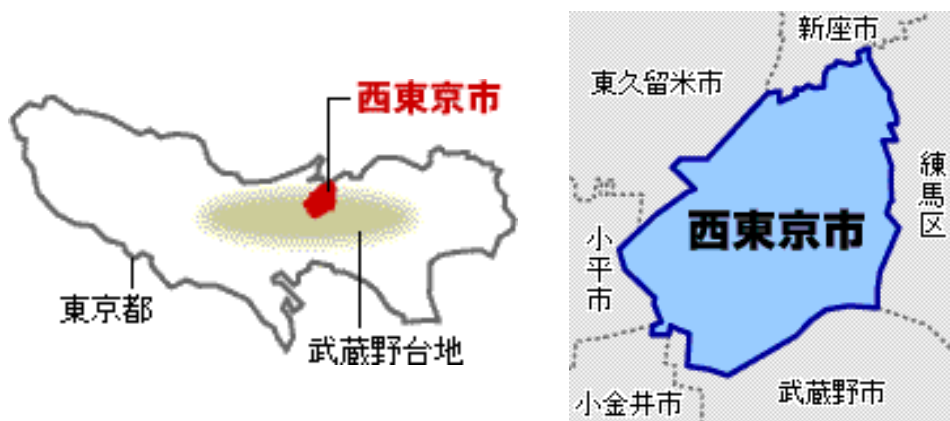
エコアクション 21 は全組織が対象範囲となります。

部	課・施設
企画部	企画政策課・財政課・秘書広報課・情報推進課
総務部	総務法規課・管財課・職員課・建築営繕課・契約課
危機管理室	
市民部	市民課・保険年金課・健康課・市民税課・資産税課・納税課
福祉部	生活福祉課・高齢者支援課・障害福祉課
子育て支援部	子育て支援課・保育課・児童青少年課・子ども家庭支援センター・保育園・児童館
生活文化スポーツ部	文化振興課・スポーツ振興課・産業振興課・協働コミュニティ課
みどり環境部	みどり公園課・環境保全課・ごみ減量推進課
都市整備部	都市計画課・用地課・道路建設課・道路管理課・下水道課
会計	会計課
議会事務局	
教育委員会 教育部	教育企画課・学校運営課・教育指導課・教育支援課・社会教育課・公民館・図書館・市立小中学校
選挙管理委員会事務局	
監査委員事務局	

※平成 26 年度現在の組織名称

5.西東京市の概要

西東京市は、東京都区部の西部地域に隣接し、武蔵野台地のほぼ中央に位置しています。都心から約 20km で、西武新宿線と西武池袋線で都心と結ばれ、市内には5つの駅（田無駅・ひばりヶ丘駅・保谷駅・西武柳沢駅・東伏見駅）があります。都心部とのアクセスが非常に良く、住宅都市として発展してきました。市内の各所に雑木林・屋敷林・農地がみられ、武蔵野の面影が残されています。



《西東京市の概況》

面積	15.75km ²
人口・世帯数	197,676 人 92,043 世帯(平成 26 年 4 月 1 日現在)

《事業所の概況》

自治体名	西東京市
代表者	市長 丸山 浩一
所在地	東京都西東京市南町五丁目 6 番 13 号
平成 26 年度当初予算額（一般会計）	69,805,000 千円
職員数	1,018 人(平成 26 年 4 月 1 日現在)
環境管理責任者	みどり環境部長 湊 宏志

《事業活動の内容》

一般行政事務、保育、教育など市民の日常生活に密接に関係する様々な行政サービスの提供。

《環境に関するこれまでの取組》

	環境マネジメントシステムの取組	その他の取組
平成 14 年 4 月		環境基本条例制定
平成 15 年 10 月	I S O 14001 認証取得	
平成 16 年 3 月		環境基本計画策定 地球温暖化対策実行計画（前期実行計画）策定
平成 18 年 5 月	学生参加による内部監査の実施	
平成 18 年 10 月	I S O 14001 更新	
平成 20 年 3 月		地球温暖化対策実行計画（後期実行計画） 環境配慮行動の指針 環境学習基本方針策定
平成 20 年 8 月	エコアクション 21 運用開始	
平成 21 年 3 月		環境基本計画改定
平成 21 年 4 月	エコアクション 21 認証取得	
平成 22 年 3 月		地球温暖化対策地域推進計画策定
平成 22 年 6 月	環境方針改訂	
平成 23 年 3 月	エコアクション 21 更新	第二次地球温暖化対策実行計画策定
平成 25 年 3 月	エコアクション 21 更新	
平成 25 年 9 月	環境方針改訂	
平成 26 年 3 月		第 2 次環境基本計画策定
平成 27 年 3 月	エコアクション 21 更新	

市の木・市の花



「市の木・市の花」は、緑と自然を行政と市民が一緒になって、守り、育て、潤いある街づくりを目指すためのシンボルとして指定されました。

市の木には、市のシンボルとしてふさわしく武蔵野台地の象徴とも言える「けやき」と、自然を守り、育てるイメージとして「はなみずき」を指定しました。市の花には、「つつじ」「ひまわり」「コスモス」「すいせん」と四季折々の4つを指定しました。四季それぞれの花を指定することは、全国的にも珍しいことです。

6.西東京市第2次環境基本計画の取組状況

基本方針 1

自然環境、歴史的及び文化的環境資源の保全・再生を進めます

みどりの保全と再生や生物多様性の保全に取り組むとともに、生命に満ちあふれた自然環境を育てるために、生物多様性の保全に取り組み、自然とふれあうことができ、みどりあふれる西東京市を目指します。

また、下野谷遺跡や社寺等の歴史的及び文化的環境資源とともに守られた貴重な自然環境も将来世代へ引き継いでいくよう努めます。

環境指標	平成 35 年度 目標	平成 26 年度 実績	前年度比	平成 25 年度 実績	担当課
公園・緑地の 面積	255,132 m ²	250,206 m ²	1,225 m ² 0.5%	248,981 m ²	みどり公園課
公園 ボランティア 数	850 人	873 人	▲22 人 ▲2.5%	895 人	みどり公園課
郷土資料室の 来館者数	3,000 人	2,589 人	368 人 16.6%	2,221 人	社会教育課

平成 26 年度は、2 公園、6 緑地を設置し、前年度よりも公園・緑地の面積が増加しました。

公園ボランティアは、市内 249 か所の公園・緑地のうち 68 か所について、除草や清掃等の協力を得ています。

郷土資料室には、ジオラマによる西東京市の歴史 12 景の展示や旧石器時代から明治時代までの各時代の史料が展示されています。



基本方針2

資源の有効活用、ごみの削減を進めます

環境への負荷の軽減と資源の有効利用を進めるために、3Rやごみの適正処理を市民・事業者・行政が一体となって推進し、環境負荷の少ない資源循環型社会の構築を目指します。

環境指標	平成 33 年度 目標※ ¹	平成 26 年度 実績	前年度比	平成 25 年度 実績	担当課
家庭ごみ原 単位※ ²	347g/人・日	375g/人・日	▲4 g/人・日 ▲1.1%	379 g/人・日	ごみ減量 推進課
ごみ 排出量※ ³	31,053t/年	34,547t/年	▲22t/年 ▲0.06%	34,569t/年	ごみ減量 推進課
資源化率※ ⁴	37.1%	33.5%	0.2%	33.7%	ごみ減量 推進課

※¹ 西東京市一般廃棄物処理基本計画：平成 24 年 3 月策定：計画期間 平成 24 年度～平成 33 年度

※² 家庭から排出される、1 人 1 日当たりの平均ごみ量（可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ+有害ごみ）

※³ 家庭から排出されるごみと、柳泉園組合へ搬入されるごみ量の合計（家庭ごみ+自己搬入可燃ごみ）

※⁴ 一般廃棄物の総排出量に対する、回収された資源の量の割合（分別回収資源物排出量+集団回収資源物排出量）／（資源ごみ排出量+ごみ排出量）

家庭ごみ原単位とごみ排出量は減少しています。生ごみの無料モデル回収を 10 月から実施しました。剪定枝を 350t 回収し、資源化も進んでいます。



基本方針3

安全・安心で快適な生活環境の確保を進めます

安全・安心で、快適な生活環境とするために、大気や河川等のモニタリングや交通環境の充実、美しいまちなみの形成、防災対策の推進、事業者への働きかけ等を継続的に実施します。

また、バリアフリー化を進め、子どもから高齢者まですべての世代に配慮されたまちづくりを進めます。

環境指標	平成 35 年度目標	平成 26 年度 実績	平成 25 年度 実績	担当課
大気 の環境基準 の達成状況	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	環境保全課
河川の水質 の環境基準 の達成状況	環境基準以下を維持 (BOD 5 mg/L 以下) (石神井川溜漕橋)	BOD 0.7mg/L	BOD 0.5mg/L	
自動車騒音 の環境基準 の達成状況	昼間 100% 夜間 100%	昼間 98% 夜間 93%	昼間 98% 夜間 95%	

二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度は、測定地点全てで環境基準を下回り、目標を達成しています。

光化学オキシダントについては、平成 26 年度は、注意報 (0.12 ppm 以上) が 8 回、学校情報 (0.10 ppm 以上) が 26 回発令され、環境基準を達成できませんでした。



基本方針4

地球温暖化対策を進めます

地球温暖化対策を進めるために、省エネルギーの取り組みや再生可能エネルギーの導入利用、二酸化炭素吸収源としてのみどりの保全や再生等を率先して取り組みます。また、市民や事業者の自主的な取り組みを後押しし、市民・事業者・行政が一体となった取組を進め、低炭素社会の実現を目指します。一方、避けることが困難であると予想される地球温暖化の影響については、適応するための取組を進めます。

環境指標	平成 35 年度 目標	平成 26 年度 実績	前年度比	平成 25 年度 実績	担当課
市内のエネルギー 使用量	電気 579GWh/年	電気 613GWh	電気 ▲5.7%	電気 650GWh	環境保全課
	ガス 4,154 万 m ³	ガス 4,448 万 m ³	ガス ▲0.9%	ガス 4,488 万 m ³	
住宅用太陽 光発電設備 の設置数※1	1,300 軒	1,278 軒	154 軒 13.7%	1,124 軒	環境保全課
市内の環境マ ネジメントシ ステム認証取 得の事業者数 ※2	50 社	34 社	3 社 9.6%	31 社	環境保全課

※1 電力会社と売電契約を行っている軒数（東京電力資料）

※2 ISO14001、エコアクション 21、エコステージ及びグリーン経営認証等の認証・登録を行っている事業者数

市内のエネルギー使用量は、電気、ガスともに前年度よりも減少しています。特に、電気の使用量は 5.7%減少しています。

住宅用太陽光発電設備の設置数は、前年度よりも 10%以上増加し、目標値に近づいています。

市内の環境マネジメントシステム認証取得の事業者数は、ISO14001、エコアクション 21、エコステージ及びグリーン経営認証等の認証・登録を行っている事業者数です。平成 26 年度は平成 25 年度より 3 社増えました。今後も事業者の環境意識を高めるために、環境マネジメントシステムの導入を進めます。

基本方針5

環境意識の醸成・協働の仕組みづくりを進めます

環境の将来像「自然とのふれあいを皆で大切に育む、すごしやすい安心なまち西東京」を実現するために、市民や事業者が環境保全活動に参加しやすい環境の提供や環境保全に関する様々な活動の推進、参加の機会や情報交換、コミュニティの場の拡充、環境分野に関わる様々な人材の活用を目指します。

環境指標	平成 35 年度 目標	平成 26 年度 実績	前年度比	平成 25 年度 実績	担当課
環境学習 事業数	140 事業	138 事業	▲20 事業 ▲20.0%	158 事業	環境保全課 ほか
環境学習講座 への参加者数	1,500 人	1,547 人	42 人 2.8%	1,505 人	環境保全課 ほか
地域での環境 保全活動に 参加したこと のある 市民の割合	10%	6 % ※24 年度	—	6 % ※24 年度	環境保全課

環境学習事業数は、参加型・体験型の事業やイベントなどを様々な部署で実施しています。

主 催	内 容
みどり公園課（3 回）	・ 自然観察会 ・ みどりの散策路めぐり（2 回）
環境保全課（61 回）	・ 環境フェスティバル ・ エコ・クッキング（一般向け 5 回、派遣講座小学校 1 校 2 回） ・ 大気の簡易測定体験講座（6 月・12 月） ・ エコプラザ西東京主催事業（34 講座） ・ 夏休みエコあそび（17 回）
ごみ減量推進課 （15 回）	・ 市内一斉清掃（5 月・9 月） ・ リさいくる市（8 回） ・ ポイ捨て・路上喫煙防止キャンペーン（5 回）

公民館（59 回）	・ 地域を知る講座「寄せ植え体験 花壇づくり弟子入りだ！」 （谷戸公民館・1 回） ・ 農業を知る講座（谷戸公民館・41 回） ・ 健康と環境を考える講座 今もっと知りたい「食」！ （ひばりが丘公民館 6 回） ・ 環境講座「地域で学び、共につくる持続可能な社会」 （保谷駅前公民館・5 回） ・ 市民企画事業 「夏休み親子自然観察会」ほか5 講座
-----------	--

環境学習講座への参加者数は、エコプラザ西東京で開催している環境学習講座の参加者数です。エコプラザ西東京での講座は、年間で 34 講座 75 回開催し、子どもから大人まで幅広い世代の方が参加しました。



環境学習事業・環境学習講座

公民館主催の環境関連講座とエコプラザ西東京主催環境学習講座の一部をご紹介します。

環境学習講座 地域で学び、共につくる持続可能な社会（保谷駅前公民館）

森林再生、ローカル資源、農地と福祉の連携などをとおして、循環型の持続可能な社会について考える5回講座です。

森林再生で地球環境を守る取組や地域の自然資源を生かした取組、西東京市の「農と福祉の連携」という先駆的な取組など学びました。

環境保全、農業振興、障がい者福祉などの活動に携わっている方も参加されて、地域での連携と持続可能な社会について意見交換することもできました。



健康と環境を考える講座 今もっと知りたい「食」！ （ひばりが丘公民館）

食の安全や食と健康・環境との関連について、最新情報を実験やクイズなども交えながら学ぶ6回講座です。

第5回では、フードマイレージを通して考える毎日の食と地球環境のつながりをテーマとして、買い物ゲーム、輸入相手国クイズ、グループ討議などをおして「私の食が世界・地球をつくる」ことを学びました。



ひょうたんでランプをつくろう （エコプラザ西東京）

エコプラザ西東京で緑のカーテンとして育成したひょうたんを使って、ランプを作りました。中をくりぬいたひょうたんに目打ちで穴を開け、中からLED ランプを照らすと、幾何学模様や顔などきれいに光り、かわいらしいランプが完成しました。

緑のカーテンの楽しみ方を紹介することができました。



暮らしと植物 ～江戸の粋～ （エコプラザ西東京）

江戸時代の暮らしを学びながら現代の生活にも役立つ省エネやエコな知恵を学ぶ講座です。「暮らす」「食べる」「楽しむ」「育てる」のテーマに分けて、緑のカーテンの効果、植物循環や野菜の効能、園芸療法、細々栽培について学びました。

植物と暮らしが密接であり、植物を活用する知恵が進化していることが良くわかりました。



環境フェスティバル

5月26日に西東京いこいの森公園で開催しました。

セグウェイの試乗会を行い、体重移動だけで動く乗り物を多くの方が体験し、環境にやさしい乗り物を紹介しました。その他にもガスや水道の地球にやさしい使い方のクイズやパネル展示、植物にふれるミニ講座など、多くの市民の方々に楽しく環境について考えるイベントとなりました。



7.市の事務事業による温室効果ガス削減の取り組み

7-1 環境目標

エコアクション 21 に基づく平成 26 年度全体目標は次のとおりです。

	種 別	数 値 目 標
温室効果ガス	基準施設※	電気起源 CO ₂
		灯油起源 CO ₂
		A 重油起源 CO ₂
		L P G 起源 CO ₂
		都市ガス起源 CO ₂
		合 計
	公用車	ガソリン起源 CO ₂ ・CH ₄ ・N ₂ O
		軽油起源 CO ₂ ・CH ₄ ・N ₂ O
		天然ガス起源 CO ₂
		冷媒起源 HFC
		合 計
	総排出量	
水道使用量		前年度実績以下
廃棄物排出量		前年度実績以下
コピー用紙・封筒購入量	対象：田無庁舎・保谷庁舎・公民館・図書館	前年度実績以下
グリーン購入調達目標		全ての品目において調達率 90%以上

※基準施設、特定施設：西東京市第二次地球温暖化対策実行計画の対象施設を基準施設とし、それ以外の施設を特定施設としています。

全体での環境目標の他に各課・各施設においても環境目標を定め、環境負荷の削減、環境保全活動の実践に努めています。西東京市では、平成 20 年 3 月に「西東京市環境配慮行動の指針」を策定し、地球温暖化対策のために職員が取り組むべき具体的な行動計画を設定し、全庁的に取り組んでいます。

取組内容は、「環境配慮行動チェックリスト」に基づき、各課で該当する項目について達成状況を「環境活動実績評価表」「環境活動実績中間報告書」で確認しています。

7-2 エネルギーに関する取組状況

市の事務事業により使用されたエネルギーや廃棄物削減の取組状況です。

① 温室効果ガス（対象：第二次地球温暖化対策実行計画に基づく基準施設）

目標	21 年度実績値	26 年度実績値	基準年度比	評価
21 年度実績以下	7,169,970kg CO ₂	8,693,114kg CO ₂	21.2%	×

（エネルギー別内訳）

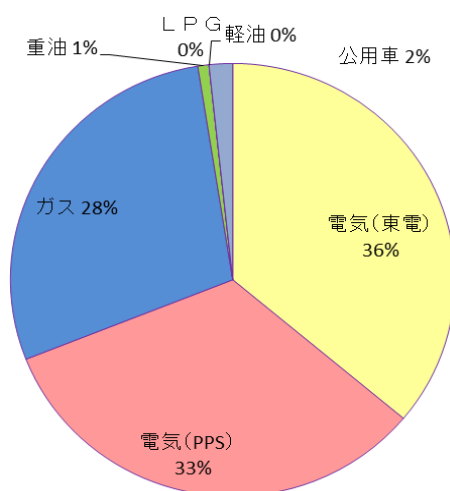
種別		目標	基準年度値	26 年度実績値	基準年度比	評価
施設	電気起源 CO ₂	21 年度実績以下	4,734,052kg CO ₂	5,915,459kg CO ₂	25.0%	×
	灯油起源 CO ₂	21 年度実績以下	10,013kg CO ₂	0kg CO ₂	▲100%	○
	A 重油起源 CO ₂	21 年度実績以下	159,234kg CO ₂	84,963kg CO ₂	▲46.6%	○
	L P G 起源 CO ₂	21 年度実績以下	32,931kg CO ₂	3kg CO ₂	▲99.9%	○
	都市ガス起源 CO ₂	21 年度実績以下	2,017,812kg CO ₂	2,519,030kg CO ₂	24.8%	×
	軽油起源 CO ₂	—	—	86kg CO ₂	—	—
	合 計	21 年度実績以下	6,954,042kg CO ₂	8,519,542kg CO ₂	22.5%	×
公用車	ガソリン起源 CO ₂	21 年度実績以下	91,317kg CO ₂	77,836kg CO ₂	▲14.8%	○
	軽油起源 CO ₂	21 年度実績以下	40,120kg CO ₂	58,671kg CO ₂	46.2%	×
	天然ガス起源 CO ₂	21 年度実績以下	82,171kg CO ₂	34,395kg CO ₂	▲58.1%	○
	電気起源 CO ₂	—	—	115kg CO ₂	—	—
	冷媒起源 HFC	21 年度実績以下	2,320kg CO ₂	2,555kg CO ₂	10.1%	×
	合 計	21 年度実績以下	215,928kg CO ₂	173,572g CO ₂	▲19.6%	○

② 温室効果ガス（対象：全ての公共施設及び公用車からの排出量）

目 標	25 年度実績値	26 年度実績値	基準年度比	評価
前年度実績以下	10,766,578kgCO ₂	10,463,038kgCO ₂	▲2.8%	○

全ての公共施設及び公用車のエネルギー使用状況も基準施設と同様で前年度並みの使用量となっています。

全ての公共施設及び公用車からの二酸化炭素排出量



〔施設〕

基準施設、全施設ともに電気、ガス起源の二酸化炭素排出量は目標には達しませんが、使用量は前年度並みでした。

電気については、各施設での節電や不要な場所の消灯に心掛けるとともに、公園灯のLED化や街路灯の省エネ化、施設設備の省エネ機器への更新などを進めています。平成26年度は、PPS（東京電力など一般電気事業者とは別の特定規模電気事業者で、契約電力が50kW以上の需要家に対して一般電気事業者が有する電線路を通じて電力供給を行う事業者）からの電気を活用した施設が増えたこともあり、二酸化炭素排出量が約2%減少しました。

都市ガスについては、使用量や二酸化炭素排出量は前年度並みですが、基準年度に比べると、大幅に増加しています。

また、LPGや灯油、重油の使用量が削減しました。

〔公用車〕

公用車を使用する際は、エコドライブを心がけ燃費の良い運転をしています。また、近場の移動には、自転車の利用を推進しています。

購入量は、前年度と比べてガソリンは約2%減少、軽油は約20%増加、電気が約245%減少、天然ガスが約76%減少しています。電気自動車は2台あり、その利用が進んでいます。また、ハイブリッド車や軽自動車も優先的に利用しています。



③ 水道使用量（対象：小・中学校を含む全公共施設の上水道使用量）

目 標	25 年度実績値	26 年度実績値	基準年度比	評価
前年度実績以下	371, 294m ³	338, 894m ³	▲8. 7%	○

庁舎や公共施設では、節水の協力を呼びかけています。

また、プールやお風呂などでは適正な水の利用を心がけています。



④ 廃棄物排出量（対象：小・中学校を含む全公共施設）

目 標	種 別	25 年度実績値	26 年度実績値	基準年度比	評価
前年度実績以下	可燃ごみ	478, 010 kg	477, 500 kg	▲0. 1%	○
	不燃ごみ※	51, 730 kg	48, 160 kg	▲7. 4	○

※不燃ごみ：容器プラスチックを含む。

無駄が出ないように事業に取り組み、廃棄物が出た際は、リサイクルやリユースに取り組んだり、ごみの分別を心がけています。

保育園でも小さい時からごみの分別を意識できるようにごみ箱を工夫しています。



⑤ コピー用紙購入量（田無庁舎・保谷庁舎・公民館・図書館）

目 標	25 年度実績値	26 年度実績値	基準年度比	評価
前年度実績以下	10, 243, 300 枚	9, 976, 130 枚	▲2. 6%	○

日常業務で、両面コピーや裏紙の利用の徹底や、電子データで共有するなど、紙の使用の削減に取り組めます。



⑥ 封筒購入量

目標	種別	25 年度実績値	26 年度実績値	基準年度比	評価
前年度実績以下	角 2	50,000 枚	50,000 枚	－	○
	長 3	130,000 枚	120,000 枚	▲ 8 %	○

不要になった封筒は、庁内文書交換便の袋として再使用しています。

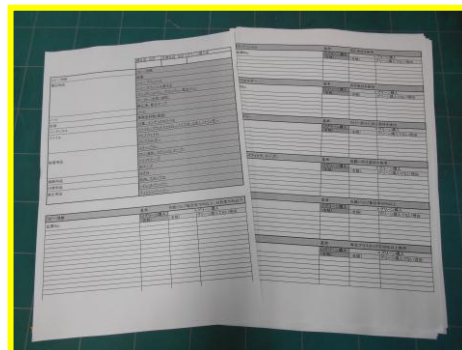


⑦ グリーン購入率

項 目	目標	25 年度実績値	26 年度実績値	評価
対象品目	90%以上	94.3%	96.8%	○

平成 26 年度は、平成 25 年度よりも購入率が高くなりました。

物品を購入する際はリストで確認し、集計表でグリーン購入率を各課において管理しています。



⑧ 化学物質使用量

薬品の使用量については、購入数量に対して規制をするものではないため、評価はありませんが、各部署において適切に管理、使用しています。

7-3 各課の環境活動

各課・公共施設の取組から特徴的な環境活動を紹介します。

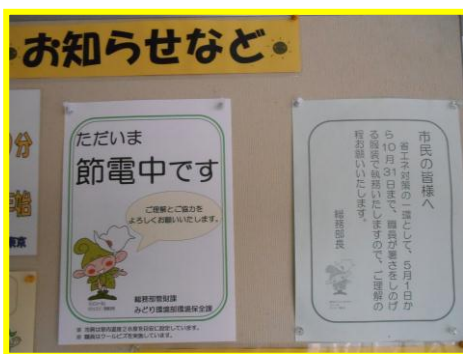
○市の業務での環境負荷の低減の取り組み

☆パソコン端末の省エネを推進しています。【情報推進課】

職員専用システム上において昼休憩時にパソコンの省エネモードの周知を行い、実施しました。平成26年度の平均は約22%でした。今後は、所属別に統計を出すなど一層の推進を図ります。

☆庁舎の省エネを推進しています。【管財課】

ポスターや掲示により電気・ガス・水道の使用量削減に取り組んでいます。



☆公共施設に省エネルギー機器を導入しています。【建築営繕課】

向台小学校校舎改修工事に伴ってLED照明器具を101台導入しました。

既存蛍光灯 から LED 電球 にしたことにより、32%省電力化を図ることができました。



☆市議会選挙の開票時間を削減しています。【選挙管理委員会】

12月に行われた市議会議員選挙において、開票時間を約1時間短縮し、照明、暖房等で省エネを図りました。

☆燃料使用量の削減に取り組んでいます【健康課】

市内や市外移動には電気自動車を使用し、訪問などの比較的短距離の場合は自転車を使用しています。その結果、ガソリン使用量を約23%削減しました。

☆事務の効率化を図っています【用地課・市民税課】

用地課では、チェックリストを活用することにより、必要書類等の準備が以前よりスムーズに行えるようになり、事務の効率化ができました。

市民税課では、eTAX(国税)とeLTAX(地方税)の活用を確定申告の時期を中心に市報やホームページでPRして、申告書の削減や事務効率化を図りました。法人市民税のエルタックス申告は対前年度比15.7%増、個人市民税の給与支払い報告書のエルタックス件数は対前年度比約23%増加しました。

◎地域への環境の保全・創造の取り組み

☆広報西東京市やホームページで環境に関する記事を掲載して市民周知を図っています。【秘書広報課】

省エネ月間、夏や冬の節電など季節に合わせた取組や環境フェスティバルやリユース事業のイベントなどを掲載しています。

今後は、SNSなども活用してさらに啓発を図ります。



☆環境関連資料を展示しています【図書館】

「環境問題」に関する図書を展示して利用しました。
保谷駅前図書館では、6月に「エコな工夫で快適な夏を」12月に「冬も快適エコライフ」のテーマで環境に関連した資料展示を行いました。



☆環境関連教育をしています【小学校】

総合的な学習の時間や各教科の学習に関連させて、環境関連の教育に取り組んでいます。地球環境を守ることの必要性和重要性の学習、エネルギーの活用の仕方や今後のあり方について考える学習、自らが取り組める環境対策とその効果を調べる学習などをしています。

また、市が発行している環境副読本「西東京市の環境」も活用しています。



☆スポーツ施設で環境にやさしい取り組みをしています【スポーツ振興課】

照明器具のLED化、エコキャップ回収、クリーンウォーク、グリーンカーテンの育成、エコカー使用とアイドリングストップ、ブラインドの有効的な利用をしています。

エコキャップの回収をして家から持参して回収に協力する利用者も多いです。

☆省エネ【保育園】

保育園の園舎は、保育室が南に面していることが多く、夏場は陽射しとテラスからの照り返しなどで、エアコンの効率が低下することから、ベランダ一面に遮光ネットを設置しました。陽射しが遮られるのでエアコンの効率もよく、省エネになりました。



☆太陽光発電システム設置費を助成しています【環境保全課】

環境にできるだけ負荷を与えないまちづくりを目指し、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を助成しています。

平成 21 年度から実施して、平成 26 年度は 70 件助成しました。



二酸化炭素
118,080 kgCO₂
削減！

☆街路灯の省エネ化を進めています

【道路管理課】

水銀灯を蛍光灯やLED灯に交換し省電力化を図っています。

照度は維持して交通の安全を確保するとともに、電気使用量を抑えました。また、平成 27 年度には、街路灯LED化事業を予定しており、さらなる省エネを図ります。



☆LED 灯具の導入を進めています

【みどり公園課】

緑町二丁目第2公園、北原第二児童遊園をLED灯具に交換しました。



☆エコドライブの推進【環境保全課】

夏休み期間にエコドライブシミュレータ体験コーナーを設置し、約 50 人が参加しました。

シミュレータを通してエコドライブ 10 か条の普及啓発をしました。



☆ミストシャワーを設置しました。

【みどり公園課】

西東京いこいの森公園にミストシャワーを設置しました。暑い公園の中で涼を感じられる場所となりました。また、熱中症対策にもなりました。



☆節水【保育園】

ため水で牛乳瓶を洗ったり、手洗いや歯磨きの時に水を出したままにしないなど、水を大切に使うことを伝えています。

簡易ミストシャワーをベランダの軒下に設置して気温の上昇を防いだり、プールの水を簡易スプリンクラーを使って園庭の散水に再利用したりしています。日常生活の中で暑さ対策と水の再利用を子どもが見聞きし、環境への意識を高めるよう配慮しています。



☆体験型農園事業である「農のアカデミー」を開催しています。【産業振興課】

平成 26 年度は 55 回実施し、のべ約 2,000 人が参加しました。

市民が農業にふれ、農業を理解するための農業体験の場となりました。「親子で野菜づくりにチャレンジ」では、だいこんとかぶの作付・収穫の体験をして、西東京市の農業や農産物のことを学びました。



☆校庭の芝生化を進めています

【学校運営課・小学校】

校庭の芝生化では、緑豊かな潤いのある空間をつくることで児童の自然環境への関心を高めています。また、校庭利用団体の協力を得て共に芝生の整備をしている学校もあります。



☆グリーンカーテンを育成しています【住吉会館・児童館・保育園・公民館など】

住吉会館2階ののどか広場南側窓を覆うようにゴーヤやメロンでグリーンカーテンを育てました。メロンのグリーンカーテンは珍しく、広場利用者に好評でした。また、実際に実がなっているのをみて自宅でも作りたいとの声がありました。



☆植物の育成【保育園】

畑やプランターで野菜や植物を育てながら、園内の緑化が二酸化炭素削減や温度調節になることを学んでいます。また、園庭の落ち葉を堆肥化し、その土を使いトマト、きゅうり、ナス、枝豆などの野菜を育て、収穫して、子どもたちの給食などに提供されています。

☆災害備蓄食料を活用しています【危機管理室】

処分期限の近い災害備蓄食料を学校給食や市民団体主催の防災訓練等に積極的に活用して処分量を減らしました。

☆ごみの持ち帰りを進めています。【市民会館（文化振興課）】

利用者へのごみの持ち帰りを周知徹底し、昨年度よりごみの排出量を 24kg削減しました。

☆家庭から出る「剪定枝・草・落ち葉」の資源化・堆肥化に取り組んでいます

【ごみ減量推進課】

年間 350t を資源・堆肥化しました。

剪定枝・草・落ち葉を焼却せず、破碎・チップ化し、
バイオマス発電所の燃料や家畜の敷料、肥料原料などにリサイクルされています。

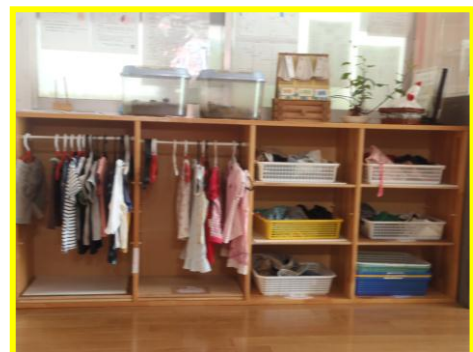


☆西東京市ごみ分別アプリを活用しています【ごみ減量推進課】

平成 25 年度にリリースしたごみ分別アプリは 7,824 ダウンロードされました。
このアプリを活用して、ごみの減量や排出マナーの向上を目指しました。

☆子ども服の再利用【保育園】

不要な子どもの衣服を置ける専用のスペースを設置し、子ども衣料のリサイクルを推進しています。
保護者からは好評であり、職員、保護者、園児が環境を大切にする意識を一層持ちました。季節を問わず持ち込みがあり、品物を時々入れ替えるなどの工夫により、多くの方が利用されています。



7-4 職員研修

時間的制約を受けず、効果的に行うことができるeラーニングプログラムによる環境に関する四択問題形式の研修を全職員、嘱託員を対象に実施しました。職場で実践できる省エネのポイントや環境マネジメントシステムの知識理解の問題などが出題されました。



職員研修の一環として、内部環境監査を実施しています。内部環境監査員に任命された職員が他の部署の環境に関する取り組みを監査しています。

7-5 環境コミュニケーション

西東京市で行った大気や騒音などの環境調査の結果をホームページや事務報告書で公表しています。

また、平成26年度において、市域にて発生した住民からの環境苦情は下記のとおりです。苦情の件数は年度によって変動はあるものの概ね横ばいとなっています。建設・解体工事に関する騒音や、野焼きによるばい煙（大気）などの苦情が多く寄せられています。良好な生活環境の確保のためにも、適切な指導を行っていきます。

環境苦情受付件数

現象別	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大気	20	9	21	23	24
水質	0	0	0	0	2
騒音	22	27	34	31	35
振動	9	3	7	2	3
悪臭	8	13	11	7	12
土壌	0	0	1	0	1
その他	0	32	5	6	1
合計	59	84	79	69	78

7-6 環境法規制等の遵守状況

西東京市の各事業活動において、環境関連の法規違反及び訴訟、異常事態の発生等はありませんでした。



いこいの森公園に咲く

ハンカチの木の花

花を包むようにしている白いハンカチのような葉状部分の苞が特徴です。苞は、初めは黄緑色で、だんだん大きくなって白くなります。

4月下旬から5月上旬頃にかけて咲く、珍しい木です。

市のマスコットキャラクター「いこいな」の帽子にも付いていますよ。



7-7 市長による全体評価及び見直し

1 全体の評価

(1) 事務事業に即した環境配慮行動の実践

エコアクション21による環境マネジメントシステムの運用も7年を経過し、各課・各施設に取組みが浸透していると思われる。また、職員の創意工夫により事務事業に即した環境目標を掲げ、環境配慮行動の実践を行っていることは評価できる。

(2) 環境マネジメントシステム運用の効率化

平成25年度に実施したエコアクション21中間審査時に、「エコ探求シート」を作成する際は、環境目標や目標達成のための手段等をさらに具体化することを指摘されたが、様式等を改善し、マネジメントシステムの運用に効果があったことは評価できる。

(3) 環境法規制の遵守

市の事務事業を行うにあたり、環境法規制を遵守することは当然であるが、普段からその意識を持って職務を遂行する必要がある。このため、環境活動実績中間報告書に法令の一覧表を載せたことで、担当する事務事業がどの法令に抵触するかを確認できるようになった。また、職員研修において法規制の確認と手順について実施し、スキルの向上に寄与したことは評価できる。

(4) 小・中学校でのエコアクション21の取り組み

エコアクション21の取り組みのほか、学校独自の環境への取り組みも多く認められ、その効果が上がっていることは大いに評価できる。しかし、学校現場から排出される温室効果ガスの割合が依然として高いことから、今後も削減に向けた継続的な取り組みが必要である。

2 今後の取り組み

(1) 環境配慮行動の推進には、職員の環境意識の向上が不可欠であることから、引き続きeラーニング研修、庁内Web等による情報提供の充実に努めること。また、審査で指摘された改善事項については、各部署で十分な検証と検討を行い確実に改善すること。

(2) 市域から排出される温室効果ガスを削減するため、「西東京市地球温暖化対策地域推進計画」及び「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」を推進すること。また、温室効果ガスの削減効果が高い再生可能エネルギー設備を公共施設に導入するとともに、市民等に対する温室効果ガス削減のための支援策を新たに構築すること。

(3) 「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」の改訂にあたっては、これまでの取り組みを検証するとともに、マネジメントシステムの効果と課題についても検証すること。



エコプラザ西東京にて

剪定枝で作った期間限定のトナカイといこいーな



西東京市環境白書・環境活動レポート

平成 26 年度（平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月）

発行：西東京市 平成 27 年 10 月

編集：西東京市みどり環境部環境保全課

〒202-0011

東京都西東京市泉町 3-1 2-3 5 エコプラザ西東京

TEL：042-438-4042（直通）

FAX：042-421-5410

H P：http://www.city.nishitokyo.lg.jp